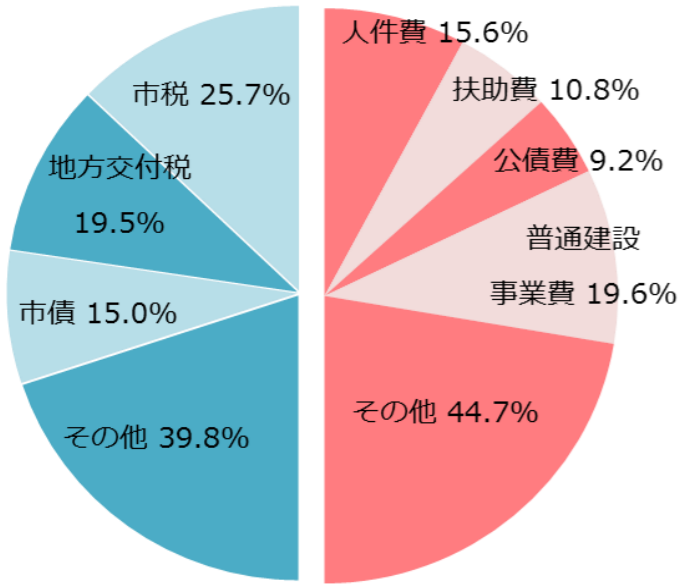


～「緑豊かなふるさと文化が香る元気なまち」の実現を目指して～

令和5年度 中野市 一般会計 当初予算案

総額 260億6,400万円



主な収入

市税
(住民税・固定資産税など)
67億円
↑ 2.9%

地方交付税
(国から配分される税金)
51億円
↑ 3.3%

市債
(借金)
39億円
↓ 0.9%

4年度当初比

主な支出

主な使途

民生費	障がい者・高齢者・児童	71億円	↑ 3.1%
総務費	企画・財産・徴税・戸籍	58億円	↓ -15.5%
土木費	道路・河川・公園	32億円	↑ 27.4%
公債費	借金の返済	24億円	↓ -0.8%
教育費	学校・給食・図書館	18億円	↑ 6.8%
商工費	商工業・観光	18億円	↑ 21.2%
衛生費	健康・生活環境	15億円	↑ 1.2%
農林水産業費	農業・林業	13億円	↓ -7.2%

※表示単位以下、四捨五入

財源確保の取組

主な収入以外では、ふるさと寄附金20億円を見込みます。中野市の魅力を地域の方と連携・発信し、より多くの方に選ばれる中野市となるよう努めます。また、令和5年度で新たにオープンする施設や整備する施設に積極的にクラウドファンディングやネーミングライツを活用し、財源の確保に努めるほか、公共施設の適正化を進めます。

子育てしやすい環境づくり

学校給食費5割軽減

保護者の経済的負担の軽減を図り、子育て施策をより一層充実させるために、現在3割軽減している学校給食費を、5割軽減に拡大します。

対象は、市内小中学校の児童生徒の給食費で、期間は、4月の給食費から5割軽減に拡大します。

軽減拡大により、給食の質や量には影響はなく、これまでどおり美味しい学校給食を提供します。



デジタル化を実感する

マイナンバーカードで窓口負担を軽減

住民異動手続きや各種証明書等の交付手続きをデジタルで一貫処理する「書かない窓口」を導入します。

手続きの際、マイナンバーカードをタブレット端末に読み取らせることで窓口での記入が不要となり、負担が軽減されます。

また、コンビニ交付サービスでは、従来取得できなかった税証明もマイナンバーカードの利用で取得が可能となります。

その他、現在一部の地域で試行運用している、くらしや防災の情報が確認できる地域情報配信ツールの有効性などを検証し、市民への情報伝達や自治会活動での運用を目指します。

農業・商工業の活性化

企業支援で転入者を増やす

新たな事業として、農業では、遊休荒廃農地の増加を抑制するため、貸し手と借り手のマッチングを円滑にする優良農地見える化事業などに取り組みます。

商工業では、企業支援として、市外に住む従業員が市内のアパート等に転入する場合の家賃手当の補助や、また、地域のにぎわい創生のために団体が実施するイベント等への補助などを行い、地域経済の活性化に繋がります。

◆多様な子育て支援策の展開

- ・子育て支援拠点施設 HUB L I C オープン ハブリック
- ・こども居場所づくり活動支援事業 こども食堂等の運営団体に補助
- ・子育てサークル活動応援事業 子育てサークルの立ち上げを応援
- ・保育園使用済み紙おむつ回収事業 紙おむつの持ち帰りをなくし保護者の負担軽減
- ・新生児聴覚検査事業 新生児の聴覚検査費用を公費負担
- ・おたふくかぜワクチン接種助成事業 接種費用を軽減
- ・子育て世帯訪問支援事業 家事や育児に不安や負担を抱える世帯、妊産婦やヤングケアラーのいる世帯を支援員が訪問して、家事や育児を支援

脱炭素化の推進

温室効果ガスの削減へ

各施設の照明を令和5年度から令和7年度の3年間で計画的にLED改修工事を行い、脱炭素化を進めます。

令和5年度では、延徳小学校体育館、南宮中学校体育館、北部公民館、中野陣屋・県庁記念館の照明設備をLEDに改修し、脱炭素化を図ります。

また、市全体で温室効果ガス排出量の削減に繋げるため、地球温暖化防止計画を策定するほか、公用車に電気自動車を導入します。

安心・安全のまちづくり

子どもを守る 通学路の安全対策

通学路の安全点検の結果に基づき、引き続き安全確保のための対策工事を行います。

令和5年度では、平岡10号線、中野2号線、若宮田表線で工事に着手するほか、歩道が確保できない場所では、路面標示を設置し、安全確保を図ります。

その他、米山線など幹線道路の整備、平成橋など橋梁の修繕、各路線の道路舗装工事を実施し、市民の安全で快適な通行を確保します。

「未来のふるさとの創造」
-わかりやすく、すばやく、ていねいに-

